

ページ	区分	箇所	H25.11中海会議	H24.8中海会議	備考
3頁	表紙	下	<p>実施中・検討中のアイデア 【一体感の醸成】..... ⑧中海ワイズユース住民活動の推進(中海圏域の住民から中海の利活用の提案を公募し、助成等を行うことで取組を支援)</p> <p>構想段階のアイデア ⑨「中海憲章(仮称)」の制定</p>	<p>実施中・検討中のアイデア</p> <p>構想段階のアイデア ⑧「中海憲章(仮称)」の制定 ⑨中海ワイズユース住民活動推進プロジェクト</p>	鳥取県未来づくり推進局
4頁	①中海周遊サイクリングの推進	右側中ほど 「取組状況」	・H25.4 コース案に対する道路管理者・公安委員会等との協議	・H24.秋頃 鳥根県のルート案を提示	鳥根県政策企画局 鳥取県未来づくり推進局
5頁	②中海周遊「EVカーでエコツアー」の推進	左下辺り 「取組状況」	<p>・H23.10.15より貸出開始 レンタル実績 225回 (4市計:H23.10.15~25.10末)</p> <p>・急速充電器の設置(合計21カ所) 旧中海市長会:4カ所 (皆生温泉観光センター、境港市役所、松江市役所、道の駅「あらエッサ」) その他:由志園(松江市)、鳥取県西部総合事務所(米子市)等</p> <p>・ドライブマップの作成 中海・宍道湖・大山圏域市長会にて15,000部作成・配布</p>	<p>H23年度</p> <p>・H23.10.15より貸出開始 レンタル実績 66回 (4市計:H23.10.15~H24.6末)</p> <p>・H23.11 米子市がカーシェアリング社会実験開始 商店街と市民等でEVカーを共同使用(非会員制)</p> <p>・急速充電器の設置(6カ所) 旧中海市長会:4カ所 (皆生温泉観光センター、境港市役所、松江市役所、道の駅「あらエッサ」) その他:由志園(松江市)、鳥取県西部総合事務所(米子市)</p> <p>H24年度 《中海・宍道湖・大山圏域市長会》 ・ドライブマップの作成(観光施設、観光案内所等に配架) ・圏域で開催される環境フェアに出展して、試乗体験を行う などして取り組みをPR</p> <p>《中海沿岸市》 ・閉庁日のEVカーレンタルを各市の事業として継続 ・米子市のカーシェアリング社会実験を引き続き継続(EVカー3台)</p>	<p>中海・宍道湖・大山圏域市長会</p> <p>※年度毎に記載していた取組を一括して記載。</p> <p>※米子市カーシェアリング社会実験はH24.10まで。</p>
		右下辺り 「今後の取組の方向」	市長会と両県および関係市で連携を取りながら、取り組みの普及啓発を行う。 急速充電器を5台増設予定。(米子市1、松江市4)	市長会と両県および関係市で連携を取りながら、取り組みの普及啓発を行う。	
6頁	③中海の「藻」の活用	左側中ほど 「取組状況」	<p>【海藻刈りによる栄養塩循環システムモデル構築事業:両県連携事業】</p> <p>・NPO法人自然再生センター(鳥根)、海藻農法普及協議会(鳥取)に委託し実施。 H23は343トン、H24は295トン回収し利活用業者へ引き渡し。 ・H25 引き続き2団体に委託し、栄養塩循環システムモデルの構築を検討中。</p>	<p>【海藻刈りによる栄養塩循環システムモデル構築事業:両県連携事業】</p> <p>H23 NPO法人自然再生センター(鳥根)、海藻農法普及協議会(鳥取)に委託し実施。 343トン回収し利活用業者へ引き渡し。 H24 引き続き2団体に委託実施。</p>	鳥取県西部総合事務所 地域振興局
		左側下辺り	<p>【海藻農法による農業再生プロジェクト:鳥取県】</p> <p>・海藻農法導入農家50農家、導入耕地面積40ha以上。野菜市、セミナー・説明会開催。通販サイトの立ち上げ等を実施。 ・H25 H23、24の成果を踏まえ、海藻農法普及協議会にて継続。</p>	<p>【海藻農法による農業再生プロジェクト:鳥取県】</p> <p>H23 海藻農法導入農家50農家、導入耕地面積40ha以上 野菜市の開催、セミナー・説明会の開催 H24 引き続き実施</p>	※年度毎に記載していた取組を一括して記載。
			<p>【藻の回収参加型イベント:鳥根県】</p> <p>・H23、24は藻刈り体験、水環境学習会、中海の幸の試食会開催。H24は海藻肥料で育てたサツマイモの芋掘り体験も実施。 ・H23.11松江本庄町で約30名、H24.9松江市八束町で約50名、 H25.10松江市八束町で70名の参加があった。</p>	<p>【藻の回収参加型イベント:鳥根県】</p> <p>H23 11月に本庄町で約30名の参加で藻刈り体験、水環境説明会、中海の幸試食会を実施 H24 両県共同で実施</p>	

ページ	区分	箇所	H25.11中海会議	H24.8中海会議	備考
			【旧加茂川藻刈り体験事業：鳥取県】 ・H23.7の「クリーンアップin加茂川2011」に、市民、各種団体等の200名が参加。 以後毎年実施され、H25は7月に実施。	【旧加茂川藻刈り体験事業：鳥取県】 H23 7月「クリーンアップin加茂川2011」に、市民、ボランティア団体、行政の約200人が参加 H24 引き続き7月「クリーンアップin加茂川2012」で実施	
		右側中ほど	【調査研究：両県】 ・藻の分布・現存量調査、成分分析実施し、両県行政担当者とNPO法人との意見交換を実施。今後も必要に応じて実施。	【調査研究：両県】 H23 藻の分布調査、現存量調査、成分分析 H24 新たに飼料化試験を実施予定(島根) 中海水産資源生産力回復調査(鳥取)	
			【海藻肥料の施用効果検証：鳥取県】 ・H23、24 白ネギ、トマト、サツマイモへの施用効果を検証 ・H25 水稲、白ネギ等で施用効果を検証中	【海藻肥料の施用効果検証：鳥取県】 H23 白ネギ、トマト、サツマイモへの施用効果の検証 H24 引き続き実施	
7頁	④「(仮)中海エンカルフード」の開発・提供	左側中ほど 【取組状況】	【中海食材の提供】 ・H23 鳥根県庁食堂で中海の食材を使ったメニュー案を策定。 ・第2回中海会議から、中海食材を使った料理を提供し、試食。 (サルボウ貝の煮付け、スズキのポアレ 等) ・H24年大会から「中海オープンウオータスイム」参加者へ、中海食材を使った料理を提供。 H24年大会：アサリ汁、オゴノリゼリー 参加者114名 H25年大会：しじみ汁 参加者163名	【中海食材の提供：H23島根県 H24両県連携事業】 H23 鳥根県庁食堂で中海の食材を使ったメニュー案を策定。 H24 引き続き、両県の共同提供について検討。 H24.6.24「中海オープンウオータスイム2012」参加者へ提供 提供メニュー：アサリ汁、オゴノリゼリー 「中海の魅力ある文化」再発見・体験・創造事業共同体(以下、「共同体」) が主体となり、鳥取・島根広域連携協働事業として実施 (参加者114名<鳥取・島根77名、その他37名>)	鳥根県政策企画局  ※年度毎で記載していた取組を概ね一括して記載。
		左側下辺り	【中海食材の開発に関連する取組】 ○スジアオノリの養殖・加工 ・松江市本庄小学校の児童等を対象に、NPO法人が主体となってアオノリの収穫、板アオノリ作りなどの体験学習を実施。	【中海食材の開発に関連する取組】 ○スジアオノリの養殖・加工：H23島根県 H24両県連携事業 H23 NPO法人自然再生センター(島根)が島根県と松江市の協力の下、春と秋の2シーズン実施。延べ参加者100名程度。 H24 「共同体」が主体となり、規模を拡大して実施。	
		右側中ほど	○アカガイ(サルボウ)復活への取り組み：両県 ・H23の稚貝放流では、本庄水域はほぼ全滅(夏場の貧酸素の影響か) ・放流場所を再検討し、H24.3.6.7月に7地点で約206万個体放流。うち3地点で生存率が高かったことを確認。 ・松江市では、水中にぶら下げる形でのカゴ養殖を実験的に実施し、好調。  ○伝統食文化伝承 ・松江市意東小学校の児童を対象に、NPO法人が主体となって、地元住民の協力のもと、「ゴズの昆布巻き」作りの体験学習を実施。 ・食文化の伝承を図ることを目的に、調理方法をDVD等に記録保存。	○アカガイ(サルボウ)復活への取り組み：両県 H23 稚貝放流→本庄水域はほぼ全滅(夏場の貧酸素の影響か) H24 放流場所の検討を行い、H24.3.6.7月に約210万個体放流。モニタリング中。  ○伝統食文化伝承：H23島根県 H24両県連携事業 H23 NPO法人自然再生センター(島根)が地元(東出雲町)の住民の方の協力のもと「ゴズの昆布巻き」を作成 H24 「共同体」が主体となり11月頃調理方法をDVDに記録保存するとともにHPでPR	
		右側下辺り 【今後の取組の方向】	中海水産資源の回復、中海食材の安定供給と提供を図るため、引き続きNPO、両県、関係市との連携を図り、各種取組を推進する。	今後も引き続きNPO、両県、関係市との連携を図り、各種取組を推進する。	

ページ	区分	箇所	H25.11中海会議	H24.8中海会議	備考
8頁	⑤ラムサール条約普及啓発の取組	右側中ほど 「取組状況」	<p>【H24年度】 延べ約400名の参加</p> <p>7/27 「楽しく学ぼう！～宍道湖・中海のつながり、歴史、恵みを感じる～」（八雲立つ風土記の丘 ほか）</p> <p>9/29 「ゴズ釣り、ゴミ拾い等」（宍道湖畔）</p> <p>9/15～16 「こどもラムサール交流」（谷津干潟（千葉県習志野市））</p> <p>10/6～7 「こどもラムサール交流」（円山川（兵庫県豊岡市））</p> <p>11/17 「魚と人をつなぎなおす」（ホシザキ野生生物研究所）</p> <p>11/18 「まんがイラスト教室」（米子水鳥公園）</p> <p>12/15 「両県合同シンポジウム」（境港市シンフォニーガーデン）</p>	<p>【H23年度】 延べ約700名の参加</p> <p>8/12 「古代・昔・ちょっと昔の中海を感じよう！」（中海及びむきばんだ史跡公園）</p> <p>9/25 「宍道湖・中海の自然とその歴史」（道の駅 秋鹿なぎさ公園）</p> <p>10/8～9 「こどもラムサール全国湿地交流会」（米子水鳥公園）</p> <p>11/13 「宍道湖・中海の自然とその歴史を巡る」（バスツアー）</p> <p>1/14 「中海の水中の様子や魚・貝・水鳥を見てみよう！」（米子水鳥公園）</p> <p>2/18 「中海・宍道湖を学び、楽しもう！さかなクンとともに」（くにびきメッセ）</p> <p>【H24年度】</p> <p>7/27 「楽しく学ぼう！～宍道湖・中海のつながり、歴史、恵みを感じる～」（八雲立つ風土記の丘 ほか）</p> <p>9月下旬 「ゴズ釣り、ゴミ拾い等」（宍道湖畔）</p> <p>9月 「こどもラムサール交流」（谷津干潟（千葉県習志野市））</p> <p>10月 「こどもラムサール交流」（円山川（兵庫県豊岡市））</p> <p>11/10 「マンガ・イラスト教室」（米子水鳥公園）</p> <p>11月中旬 「魚と人をつなぎなおす」（宍道湖畔）</p> <p>12/15 「両県合同シンポジウム」（境港市シンフォニーガーデン）</p>	鳥取県生活環境部  ※H23、24の記載を24、25へ時点更新
		右側下辺り	<p>【H25年度】</p> <p>7/27 「中海の今と昔を学ぼう」（白鳳の里、大根島第二溶岩トンネル）</p> <p>8/22～23 「こどもラムサール交流」（琵琶湖湖北（滋賀県長浜市））</p> <p>9/23 「宍道湖でハゼを釣って、ハゼを知ろう！」</p> <p>10/13 「ゴズ釣り&amp;料理」（米子水鳥公園）</p> <p>11/9～10 「こどもラムサール交流」（宍道湖）</p> <p>11/30 「こどもたちの食卓にもっと魚を！」（ホシザキ野生生物研究所）</p> <p>1/18 「両県合同シンポジウム」（くにびきメッセ（島根県松江市））</p>		
10頁	⑦「日本風景街道」の推進	中ほど 「取組状況」	<p>【H22～24年度】</p> <p>H23.3 「神々の国しまね」プロジェクトの観光案内サイン整備に位置づけ。島根県内の風景街道ルートにルート案内看板や二十社寺案内看板を整備。「道の駅」に、風景街道ルート名大型看板、ルート地図板、ブースの3点セットを整備。道の駅「本庄」近傍、外2箇所にビュースポットとブースを整備。</p>	<p>【H22～23年度】</p> <p>島根県内の風景街道ルートの沿線にある「道の駅」に、風景街道ルート名大型看板、ルート地図板、ブース、ビュースポットなどを整備。H23.3 「神々の国しまね」プロジェクトの観光案内サイン整備に位置づけ。</p> <p>【H24年度】</p> <p>引き続き、未整備の「道の駅」に整備を進める。</p>	鳥取県土木部  ※年度毎で記載していた取組を一括して記載。
		下 「今後の取組の方向」	引き続き、道路環境整備を実施するとともに、整備済のサインや道の駅ブース等を活用し、地域の豊かな自然や歴史的資源を楽しむ地域づくり活動をNPO等活動団体との協働・連携により、観光の振興や、地域の活性化につなげていく。	鳥取県内の整備については今後両県で調整を図る。両県と「日本風景街道」事業に取り組んでいるNPO等の活動団体との協働・連携により、原風景を創成する運動を促し、観光の振興や、地域の活性化につなげていく。	鳥取県土木整備部
11頁	⑧中海ワイズユース住民活動の推進	全て	新規にページ作成		鳥取県未来づくり推進

※「てにをは」の修正、「メッカ」→「聖地」、「ルート」→「コース」など用語の修正・統一、関係主体の名称変更・追加などは省略しております。

# 各種団体において行う中海の利活用

中海会議 中海利活用WG事務局(鳥取県企画課)

各種団体において、楽しく遊ぶ、スポーツ、観光など、中海を活用した様々な取組が行われている。

- 環境を考える自然学習
- 中海の食材の復活を目指す取組
- 中海での水上スポーツ
- 中海圏域の一体感を目指したイベント

区分	場所	内容	実行者
環境・学習	米子港、波入港、湖遊館(出雲)	中海・宍道湖子ども探検クルーズ・・・H25.8.2他(計3回) 小学生対象:湖の自然や水質について学ぶクルージング	中海・宍道湖・大山園城市長会
	米子市旗ヶ崎(米子食品会館)	中海環境フェア・・・H25.8.25 中海の生き物、水質や環境についての展示	NPO法人 中海再生プロジェクト
	米子市旗ヶ崎(米子食品会館)	中海ポスター、中海環境標語コンクール・・・H25.8.25 中海に関するメッセージ等	NPO法人 中海再生プロジェクト
	中海弓浜干拓地境港市浜農園	コスモ アースコンジャス アクト クリーン・キャンペーン・・・ H24.10.6 中海のゴミ拾い、海藻を肥料にしたさつまいも堀り体験	FM山陰
	松江市意宇川河口付近	みんなで中海をきれいにしようin意宇川・・・H24.5.26 中海の流入河川のゴミについての学習および清掃	認定NPO法人自然再生センター
	米子港～松江港～宍道港	斐伊川水系を捉えた中海・宍道湖の旅・・・H25.4.29 参加100名:専門家による自然環境、魚介等の説明、クイズ	認定NPO法人自然再生センター
	米子市児童文化センター	中海写真展・・・H25.6.19～30 中海とその周辺の自然環境、中海と人のふれあいを表現した写真展を開催し、中海の水質浄化などをアピール	米子市
	境港市竹内団地	アマモ・コアモ勉強会・・・H25.6.8 アマモの植栽、湖底調査	NPO法人 未来守りネットワーク
	境港市竹内団地	中海産海藻肥料による農業改革セミナー・・・H25.2.22 中海の現状と、中海産海藻肥料による農業改革についての講演	海藻農法普及協議会
	境港市水木しげるロード 八束町八束支所前	中海の海藻肥料を使用して育てられた農産物のPR・販売 海藻の循環についてパネルを置き購入者に説明、および農産物に付加価値をつけるため 商標登録した「なかうみちゃん」のシールを貼りPR	認定NPO法人自然再生センター
	境港市弓浜承水路 松江市北部承水路	海藻の繁茂状況調査・ベントス調査(環境省委託調査) 平成23年度～	認定NPO法人自然再生センター
食	島根大学白潟サロン	中海の食を広めよう会・・・H25.4.25他(計3回) 各回15～20名参加:中海でとれた魚介類を調理し試食	認定NPO法人自然再生センター
	島根県松江市江島港	中海でオゴノリ刈り体験&中海の食体験・・・H25.10.18-19 参加50名:藻刈り体験後中海の食材を使用した料理試食	認定NPO法人自然再生センター
	松江市美保関町森山地区	中海海開き・・・H24.7.24 潮干狩り、海水浴、生き物調査、アサリの放流、試食	NPO法人 未来守りネットワーク
	境港市	“海藻農法”で出来たお米の刈り取り体験・・・H24.10.13	海藻農法普及協議会
スポーツ	中海 ライドコース	中海一周サイクリング大会(中海ライド)・・・H25.6.16 参加者270名:松江市役所発着(中海1周80km)	松江輪栄協同組合
	境港市中浜港	山陰マスターズレガッタ、境港ボートマラソン・・・H25.5.19	境港ボート協会
	境水道	境港ボートレース・・・H25.7.28	境港ボート協会
	境港市中浜港	中海レガッタ・・・H25.9.29	境港ボート協会
	境水道	第23回境港ペーロン大会・・・H25.7.29	境港ペーロン協会
	境港市中浜港	第8回こどもペーロン大会・・・H25.8.18	境港市ライオンズクラブ
	米子市錦海ボートコース	第45回米子市民レガッタ・・・H25.7.7	米子市民レガッタ実行委員会
イベント	米子、湊山公園等湖岸	中海夕暮れコンサート・・・H25.5.25他(計6回) 中海の夕暮れを活用したイベント。5月から9月まで複数回開催	NPO法人 中海再生プロジェクト